創刊号発刊に際して

理事長　佐々木専三郎

昭和39年9月，ラテン・アメリカ政経学会が創立された。本学会は，わが国におけるラテン・アメリカ地域についての社会科学的研究（いわゆるエリア・スタディ）の促進を目的とするものである。

"エリア・スタディ"という社会科学の部門は，ある特定の地域全体を対象として，政治学，経済学，歴史学，法律学，社会学などの分野においてすでに到達した研究成果を前提として，綜合的に研究することを目的とするものである。それは第二次世界大戦中から戦後にかけて出現した，社会科学における新しい分野であって，現在生成途上のものである。したがって，それの方法論，すなわち認識対象ならびに研究方法に関しては，いまだ一義的な明確性を欠いている。

◇　◇　◇

ラテン・アメリカ諸国とわが国とは，とくに現在において密接な経済的関係があるにもかかわらず，この地域を対象とする社会科学的研究はあまり進んでいないというのが実情である。従来，各地の大学，研究所で研究者は，それぞれの専門的立場から孤立的，分散的に研究を続けていた。これらの研究者の研究成果ならびに資料を交流させて，相互の研究を促進しあってゆくことが，まず本学会の第一次的目標である。さらにエリア・スタディは，さきに述べたとおり，諸社会科学の諸部門の研究成果の統合的活用をはかるものであるから，そのためには各部門の研究者の間に研究上の緊密な協力関係を作り出すことが絶対に必要なのである。そのような過程のなかで，エリア・スタディの認識対象，方法なども次第に明確となり，それの目的によりよく接近することができ

るのだと考えている。本学会はこのような路線に沿って努力を続けてゆきたいと思う。なお，他の研究領域と比較していちじるしく少ない研究者の養成も，本学会はその一つの目的にしている。

◇　　◇　　◇

創立以来，数回にわたって研究報告会を開いてきた。今回，会誌第1号を発刊するに当たって，過去の成果を省みるとともに，一日も早く所期の目的が達成できるような学会に育てあげたいと思う。そうして，わが国のエリア・スタディの，さらに広く社会科学一般の研究に対して，本学会がいささかでも貢献できるならば幸甚である。